



# Beside you 通信 第49号

## ●お知らせ - 新たに3名が室員となりました -

ダイバーシティキャンパス推進室は室長、専任のコーディネーターと、部局からの選任等9名の教員で構成されていますが、10月より、新たに以下3名の職員が室員として加わりました。



総務企画部人事課福祉厚生係	岩本 智美
研究推進部研究推進課総務係	會見 有紀子
農学部連大・共同獣医総務係	森田 将悟

【室員紹介】のコーナーで紹介していきます!!

### この号の内容

- ◆お知らせ  
新たに3名が室員となりました
- ◆活動報告  
生理用品の配置実験について
- ◆つぶやき  
FIFAワールドカップ カタール2022
- ◆室員紹介  
岩本 智美さん 人事課福祉厚生係長
- ◆お役立ち情報  
コミュニケーションセミナーの開催について

## ●活動報告 - 生理用品の配置実験について-

10月25日より、湖山キャンパス内女子トイレ個室数か所において、生理用品の配置実験を行っています。

これは、推進室の学生スタッフが昨年8月に行った、生理に関する学内実態調査にて350名の回答から、生理への関心の高さや生理に悩む女子学生の姿が浮き彫りになったことで、この調査結果を基に解決案をまとめ、昨年12月に大学へ提言を行いました。

緊急時への対応策として、個室トイレに生理用品の無料提供を行うO i T rを設置することが決まりましたが、半導体の世界的な不足と、メーカーの供給能力を上回る需要により、残念ながら納期の目途が立っていません。



ショッピングモールに設置されているO i T r



生理用品を配置中のトイレ

そこで、当初O i T rの初回設置において行う予定であった、生理用品の使用数や使用頻度の把握、また実際に使用した方からの感想や意見などアンケートを行い、今後O i T r等機器設置場所や配置する生理用品への参考とするため実施しています。

配置トイレは、地域学部棟、工学部棟、農学部棟、共通教育棟に加え、図書館、学生会館にも配置します。

見かけた方は、アンケートへのご協力をお願いいたします。

## ★つぶやき

### ～FIFAワールドカップ カタール2022～

11月20日から開催されているワールドカップカタール大会は、中東で開催される初めての大会として、宗教上の理由から自由にお酒が飲めなかったり、服装が規制されていたり、感染症の流行から、選手の登録人数や一試合における途中交代の選手が増えたり、オフサイドの判定にAIが導入されたりと、技術の進化を感じさせるものもあります。

注目なのは、これも今大会が初となる女性審判員で、主審を務める3人の中に日本人の山下良美さんが含まれています。サッカーの審判員は資格が必要で、例えばJリーグで審判をするためには1級審判員の資格が必要。ピッチ上を走る脚力や体力も必要なため、男性と同じ厳しい体力テストをパスしなければなりません。山下さんは「選手が男か女か、それは私にとっては関係ない」と語っています。日本チームの戦いはもちろんですが、山下さんの活躍も期待しています。

## ★室員紹介 岩本 智美さん

人事課福祉厚生係長

こんにちは。10月からダイバーシティキャンパス推進室員を務めています。担当は、国家公務員共済組合に係る事務手続きで、年金額算定の基礎となる標準報酬月額管理・報告が主な内容です。

男女共同参画推進室当時に実施された学童保育「とりりんサマースクール」に、当時小1の娘を参加させていただきました。その時のプログラム「書道の世界」をきっかけに書道パフォーマンスに興味を持ち、中2となった今では、高校に入り書道ガールズになりたいという目標ができ、勉強するモチベーションになっているようです。親としても、子育て中の教職員への支援を目的とした事業の思わぬ収穫に、驚きとともに大変うれしく思っています。

成果をすぐに実感しにくい取組みであっても、時間をかけてキャンパス全体に広がり、構成員の皆様が自分らしく活躍できるよう、微力ながらお手伝いできればと思っています。

### 【大事にしていること】

いつもごきげんでいること。  
(仕事でも家庭でもそうでありたいのですが…)



…イメージ通りには  
いきません(トホホ)



娘(小6)と息子(小3)が  
所属する野球チームで  
年1回行われる  
親子野球で対決!

## ★お役立ち情報 -コミュニケーションセミナーの開催について-

日常生活のなかには、寒さや暑さ、騒音、人間関係、仕事の量や質、環境の変化など、さまざまなストレス※があり、これらのストレスに上手く対処できないと、感情、身体、行動にストレス反応が現れます。怒りの感情もその一つで、イライラすることが多くなると、頭痛や腹痛などの身体反応や、行動面でも怒鳴る、眠れないなどの反応が現れます。 ※ストレスを引き起こす要因

怒りの感情や行動に影響を与えている物事の捉え方や考え方を、より柔軟な考え方に変えていくことで、自らの力で感情をコントロールし、適切な行動がとれるようになることを目指しましょう。



期 間：2022年12月12日(月)～2023年1月11日(水)

受講方法：manaba《ダイバーシティキャンパス推進室》にて配信

テ ー マ：「アンガーマネジメント～自分の怒りに気づき、対処できるようになるために～」

1部 アンガーマネジメントとは何かを知り、その上で怒りの感情を理解する

2部 ストレスマネジメントで心身を落ち着かせ、自分の考え方のくせを知り、  
変える



講 師：佐藤 恵子氏

一般社団法人アンガーマネジメントジャパン代表理事 臨床心理士

詳しくは、HP (<https://www.tottori-u.ac.jp/5683.htm>) を参照ください。

ご要望・ご相談などは、下記までお寄せください

〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

ダイバーシティキャンパス推進室(地域学部棟4階)

TEL: 0857-31-5769 または 内線2166

FAX: 0857-31-5797

Email: [diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

H P: <https://www.tottori-u.ac.jp/5683.htm>

室長：細井 由彦 理事

専任コーディネーター：長谷 順子 (キャリアコンサルタント)



Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室

Beside you